

公益社団法人 日本給食サービス協会会長賞

『おいしい音』

東京都杉並区立浜田山小学校 六年 男子 石川 連也

「ガラガラ タトトン」

お腹の虫も鳴きはじめて頃聞こえる配膳ワゴンの音、給食の時間の始まりの音。病氣予防の黙食の為、今はクラスメイトの話し声はしないけど皆のソワソワクワクワした感じが音として聞こえる気がする。

当番の子の給食をよそう音が静かに響く。「ぼちやちや、カタ、モツモツ、コトン」色んな献立がトレーに並ぶ。食器の音、中に入っている具材の音。ああ、ぼくのお腹の虫が待ちきれなくて大合唱でした。

「いただきます」

あいさつと共に食べ始める、うちの区の学校では主食はごはんが多い。白飯自体も美味しいけど季節の吹き寄せごはんやメキシカンライス等の変わりご飯が人気が高い。その中でも僕は郷土食の深川めしが好きです。あさりの美味しさがギュッと入り、口でモキュと感じる音が心地よいのです。

別の地域から来た友達に郷土食給食を聞くと、ソースかつ井やカニ等豪華な物から呉汁やヒカド等楽しげな名前の料理まで出てきて地域によって色々な郷土食の給食がある事を知りました。それぞれの学校の栄養士さんやスタッフの人が色んな献立を考えて作ってくれておかげで地産の物や郷土食を知り味わう事が出来る事にありがたく思いました。

「知ってる？献立の種類もすごいけど食感を考えて切り方も変えてるんですって。機械だけじゃなく手切りで数百人分用意する時もあるって聞いて驚いたよ」

そう話してくれたのは母。給食試食会で聞いた事を教えてくれたのをふと思い出す。聞かなければ只食べて満足していた。目の前の給食を改めて見て口に運ぶ、ゴロリとしてクシュと小さな音でつぶれる野菜の煮物。サラダは細く少し弾力がある感じ。切り方次第で口の中の食感も音も違う。一つ一つは小さい事かもしれないけど、短い支度時間の中色んな工夫をしてもらっているのだと改めて感謝の気持ちになりました。

午後の教室移動の時に給食室の前を通った。食べ終わった食器や道具を片付ける音がする。ガタガタジャージャーとあの絵本に出てきそうな大釜も洗われているのかな？いつでもピカピカな給食室。美味しい給食はきれいな給食室で出来ている。ふと遠目で給食室の方と目が合った。少し緊張したけど

「ごちそうさまでした。給食美味しかったです」

と声に出した。聞こえたのか目元をクシャリと寄せてほほ笑んでくれた。

「ぐくぐくぐく」

今日も教室のあちこちからお腹の虫の音が聞こえる。給食に携わる生産者さんや沢山の人の協力で成り立つ食に感謝しつつ。このおいしい音と味を楽しみたいです。